



**FAST RETAILING**

[www.fastretailing.com](http://www.fastretailing.com)

「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」

# BUSINESS REVIEW 2018

第2四半期累計ビジネスレビュー

2017年9月1日 ~ 2018年2月28日

株式会社 ファーストリテイリング

RELEASES HEAT AND MOISTURE

**AIRism**  
comfort conditioning technology

表紙：モデルが着用しているのはエアリズムタンクトップ(1,990円+消費税)。  
呼吸するように湿気や熱気を放出し、衣服内環境を快適に調整し、  
肌をサラサラに保つインナーです。

# 新しい産業を創る

上期の業績は、海外ユニクロ事業の飛躍により、大幅な増収増益を達成しました。2018年8月期通期では、グループの売上収益が2兆円の大台に初めて乗る見込みです。また、グローバルで拡大するユニクロ事業の収益性が改善傾向にあるため、営業利益も過去最高を更新する見込みです。

この好業績は、世界中の市場でユニクロがお客様から高く評価されていることによるものです。LifeWearという唯一のコンセプトを構築したユニクロは、高品質な生活の道具、人が個性をつくり出すための「部品」としての服を提供し続けています。高い品質や機能性、着心地の良さ、リーズナブルな価格、豊富なカラーやサイズを展開するユニクロの服は、世界中でファンを増やし続けています。

グローバル化、デジタル化がめまぐるしいスピードで進む今、国・産業・企業という既存の枠組みを超えて、人・モノ・情報が自在に動き、企業は情報を軸に、グローバルで競争する時代になっています。こうした時代の変化のなかで、我々はどのような企業になるべきか、どうやって新しい次元の競争に勝ち残るのかということを実験に考えました。我々は、情報を基軸とする新しい産業「情報製造小売業」になることを決めました。

「情報製造小売業」になるために立ち上げたのが、有明プロジェクトです。有明プロジェクトを本格的に稼働させてから1年がたちます。会社のすべての仕組みを大きく変革すると同時に、全社員の働き方を根底から変えています。大きな成果の一つは、グローバルヘッド

クォーターが常に世界中の各地域の本部や店舗と連携を取り、可視化された情報をベースに、一体化した組織として仕事をする体制ができたことです。まだ道半ばではありますが、有明プロジェクトの成果は確実に現れてきています。

2018年8月期の海外ユニクロ事業は、売上収益が国内ユニクロ事業を超え、営業利益は国内ユニクロ事業に迫る水準になる見込みです。グレーターチャイナ、韓国、東南アジア・オセアニアといったエリアの事業の拡大には目を見張るものがあり、米国では西海岸を中心に次の成長市場としての芽が育ちつつあります。ユニクロは、グレーターチャイナから韓国、東南アジア・オセアニア、インド、米国西海岸までの環太平洋地域の経済発展とともに、これからもビジネスを拡大できるチャンスがあると思います。

我々はグローバルでの事業拡大とともに、サステナブル（持続可能）な世界の実現にも力を注いでいます。服を製造する過程で、工場の労働環境、人権尊重、環境保全に取り組むほか、全商品リサイクル活動、女性活躍、障がい者雇用などをさらに積極化させていきます。

「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」。我々のビジネスはお客様のためにあり、社会を豊かにするためにあるという目的を忘れず、より良い世界を実現するための努力をこれからも続けていきます。

代表取締役会長兼社長 柳井 正

# GROUP HIGHLIGHTS 2018

## 決算ハイライト

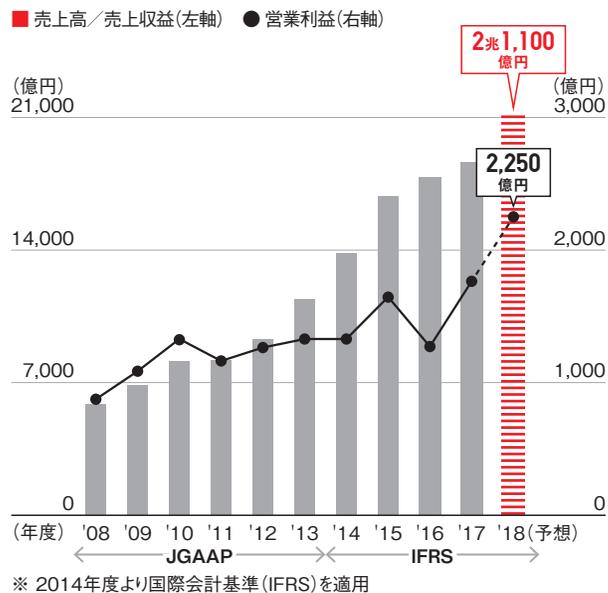
### 2018年8月期 上期連結実績

売上収益は1兆1,867億円、前年同期比16.6%増、営業利益は1,704億円、同30.5%増と、計画を大きく上回り、過去最高の業績を達成。特に、海外ユニクロ事業の収益性が改善。

### 2018年8月期 通期連結業績予想

上期に国内・海外ユニクロ事業の業績が計画を大幅に上回ったため、通期の連結業績予想を上方修正。売上収益は2兆1,100億円、前期比13.3%増、営業利益は2,250億円、同27.5%増を予想。年間配当金は1株当たり400円に増額修正、前期から50円の増配を予想。

### 売上高／売上収益と営業利益の推移



## ユニクロ事業

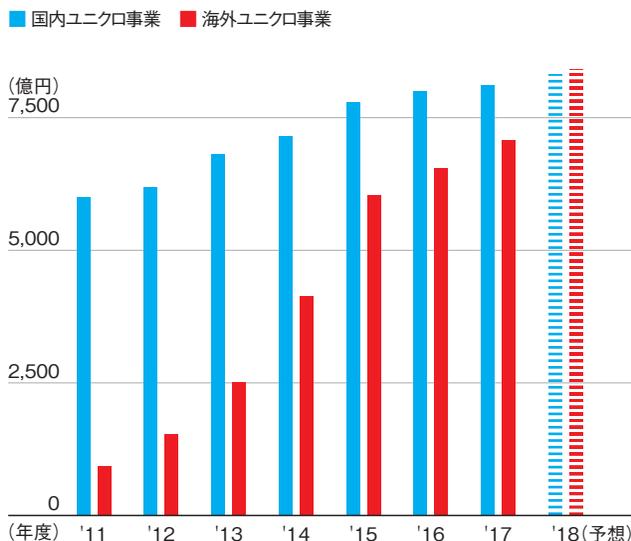
### 国内ユニクロ：冬物商品の販売が好調で、増収増益

例年以上の寒さにより、上期を通してヒートテック、ダウンなどの防寒衣料の販売が好調で、既存店売上高は前年同期比8.4%増。値引きロスが減少し、売上総利益率は改善。物流費、広告宣伝費の削減により、営業利益は同29.0%増。

### 海外ユニクロ：大幅な増収増益を達成

上期の売上収益は、初めて国内ユニクロ事業を上回った。商品構成の見直しや販売計画の精度向上など、グローバルでの経営改革が進み、営業利益率は15.9%と同3.5ポイント改善。特に、グレーターチャイナ、韓国、米国の収益性が大きく改善。米国の赤字幅は大幅に縮小。

### 国内・海外ユニクロ事業の売上収益の推移



## サステナビリティの推進

### サステナビリティウィークを開催しました

ファーストリテイリングは、サステナビリティ活動を事業活動と同じく、大変重要だと考えています。企業におけるサステナビリティ(持続可能性)とは、企業が社会への責任を果たし、社会に貢献しながら事業戦略を遂行し、長期的に成長していくことです。2018年3月には、有明本部において、初めての従業員向けイベント「サステナビリティウィーク」を開催しました。

このイベントは、従業員一人ひとりが、サステナビリティの重要性を理解し、自分たちの仕事に反映するために開催されたものです。社外からも有識者を招き、環境・社会・ガバナンス(ESG)についての知識を深めたり、会社がいま取り組んでいるさまざまな課題(原材料調達、店舗づくり、パッケージ開発、全商品リサイクル活動など)について、国内外の従業員が多数参加して、活発な意見交換を行いました。

こうした活動は、サステナビリティ活動報告誌「服のチカラ」で、詳しくご覧いただくことができます。

ファーストリテイリングは、これからも、世界を良い方向に変えていくために、サステナビリティ活動を推進してまいります。



「服のチカラ」はこちらからご覧いただけます。

服のチカラ

[http://www.uniqlo.com/power\\_of\\_clothes/](http://www.uniqlo.com/power_of_clothes/)

# スペイン バルセロナに 初出店 欧州ユニクロはエリア 拡大へ



2017年9月にオープンしたスペイン バルセロナの1号店は、予想を上回る好調なスタートとなりました。1階から3階までの吹き抜け上部は、建造当時のステンドグラス窓で飾られ、カタルーニャ地方の伝統的なシャンデリアとともに、この店舗を象徴する一角となっています。2階へと続く階段壁面の大型スクリーンにはオリジナルムービーを投影し、ユニクロが日本発のブランドであることを紹介しています。ユニクロが、日本文化の職人気質、まじめな物づくり、素材へのこだわり、精緻でクールなデザインといったバックボーンを持つ日本発のブランドだということをスペインのお客様に理解していただくことは大切です。

11月にはバルセロナに2号店をオープンし、1号店に続き、高い人気を集めています。スペインはZARAブランドを展開するInditex社の本拠地ですが、ZARAとは異なるユニクロのシンプルで高品質な商品や、ユニクロがめざすLifeWear(究極の普段着)というコンセプトが、スペインのお客様にも好感をもって受け入れられています。

2018年秋には、オランダの1号店としてアムステルダムに、また、スウェーデンの1号店としてストックホルムに出店を予定しています。業績が安定してきた欧州事業は、これからも大都市を中心に出店を進め、拡大のステージへと向かっていきます。



ユニクロ パッセージ・デ・グラシア店(スペイン)





tomas maier



## ユニクロに本格的な リゾートウェアが登場

米国ブランドの“tomas maier(トーマス マイヤー)”とユニクロの  
コラボレーションが、2018年の初夏に登場します。

「time offー心の解放、時間からの開放」という“tomas maier”  
のフィロソフィーと、ユニクロの上質な素材が融合した、着心地が  
良く、着る人に開放感と楽しさをお届けする、ユニクロ初のリゾート  
ウェアのコレクションです。

トーマス・マイヤー氏がアトリエを構えるフロリダのパームビーチ  
からインスパイアされた、太陽のように明るい赤やオレンジ、青空に  
映える白の鮮やかな配色、“tomas maier”のアイコンであるパーム  
ツリー柄を取り入れた、夏らしいデザインに仕上がっています。さらっ  
とした着心地のエアリズムを使ったジャケットやポロシャツ、カシミア  
100%のサマーニットなど、快適な毎日を過ごすことができるリゾート  
ウェアです。



トーマス・マイヤー

ドイツに生まれ、パリで学んだ後、ソニア リキエルやエルメス  
などの老舗ブランドで経験を積み、現在はイタリアの高級  
ブランド ボッテガ・ヴェネタのクリエイティブ・ディレクター  
として活躍中。自身の名を介したブランド“tomas maier”  
は1997年創業の米国ブランド。



# 人生の0日目からやさしく包みたい ユニクロのベビー&マタニティ



スリーパー

¥1,500(+消費税)

赤ちゃんの快適性を考慮し、肌面には綿素材を使用。キルト素材の心地よいあたたかさで赤ちゃんをやさしく包みます。3~4歳までお使いいただけます。

コットンメッシュインナーボディ  
(ノースリーブ・2枚組)

¥990(+消費税)

やわらかなめらかな綿100%のメッシュ素材は、風通しがよいため、涼しくムレにくいのが魅力。色柄も豊富にそろえました。



ベビー&マタニティは、すべての人々の生活をより快適に変えていくというユニクロのLifeWear(究極の普段着)のコンセプトのもとで開発されています。産まれたばかりの赤ちゃんとお小さな命を育てるお母さまの生活をサポートするために、素材から細部のデザインに至るまで、とことん考えてつくられています。

産まれたばかりの赤ちゃんは、体温調整が苦手です。肌はとてもデリケートです。そんな赤ちゃんの肌ストレスに配慮して、背中や脇は縫い目のない1枚仕立てにしました。汗をしっかり吸い取る柔らかな綿100%のフライス素材に加え、通気性が良くムレにくい

綿100%のメッシュ素材も開発しました。

マタニティ商品は、2017年8月から販売を開始しました。体型の変化、日々変わる体調への不安を感じやすい妊娠期にも、着こなしを楽しみながら快適に過ごせるように工夫を凝らしています。大きくなっていくお腹を心地よく包みながら、すっきりしたシルエットに見せてくれるボトムスなど、体型の変化をやさしく受け止めながらマタニティライフを過ごすことができます。

ユニクロは、人生のスタートである新生児期から、あらゆる生活のシーンに寄り添った商品をこれからもお届けしていきます。

# JEANS INNOVATION CENTER

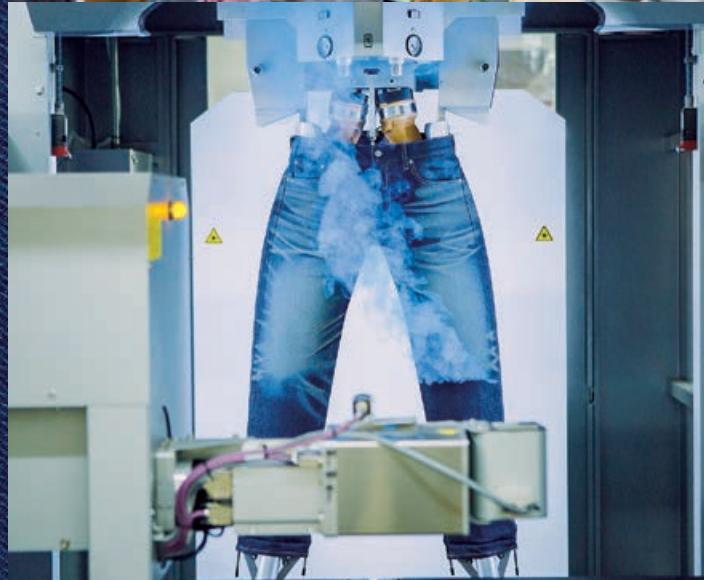
## 新しいジーンズの開発が始まっています

ジーンズの聖地である米国のロサンゼルスには、デニムに関するあらゆる情報が集まります。その地に2016年11月、プレミアムジーンズとして知られるファーストリテイリングのグループ会社であるJ Brandをはじめ、ジーンズ開発のスペシャリストが集結し、JEANS INNOVATION CENTER (JIC)が発足しました。ジーンズの進化は、素材の開発とともにあります。JICでは世界屈指のファブリックメーカーと協業し、素材開発から加工、シルエット、ディテールを追求し、理想のジーンズの実現をめざしています。ジーンズの表情を大きく左右する「洗い」や「ダメージ加工」では、最先端のレーザー技術を使い、ジーンズに新しい魅力的な表情を与えています。

JIC初のコレクションとして、2017年秋冬にユニクロからハイライズシガレットジーンズを発売。シガレット(タバコ)のように膝下がすっきりした脚長効果のシルエットが大好評です。JICの加工技術によりヴィンテージデニムのような本格的な仕上がりに、スウェットのように快適な履き心地のEZY(イージー)ジーンズも人気です。今後はグループのジーユーやPLST(プラステ)でも、JICの技術を使った、ジーンズの価値観を変える商品開発をめざしていきます。



※理想のジーンズを開発するために、ダメージ加工をデジタルデータ化



※レーザー技術でダメージ加工を行っている様子

上期の連結業績は、売上収益1兆1,867億円(前年同期比16.6%増)、営業利益1,704億円(同30.5%増)と、過去最高の業績を達成しました。減損損失99億円および為替差損86億円を計上した結果、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,041億円(同7.1%増)となりました。

国内ユニクロ事業の上期の売上収益は4,936億円(同8.5%増)、営業利益は887億円(同29.0%増)と増収増益でした。例年以上の寒さにより、ヒートテックなどのコア商品の販売が好調で、既存店売上高は同8.4%増となりました。収益面では、売上総利益率が改善、また、物流費、広告宣伝費の大幅な削減が寄与し、売上高販管費率も改善しました。Eコマースの売上は、同31.6%増(売上構成比7.5%)となりました。

海外ユニクロ事業の上期の売上収益は5,074億円(同29.2%増)、営業利益は807億円(同65.6%増)と大幅な増収増益でした。地域別では、すべてのエリアで計画を上回る業績を達成し、特に、グレーターチャイナ、韓

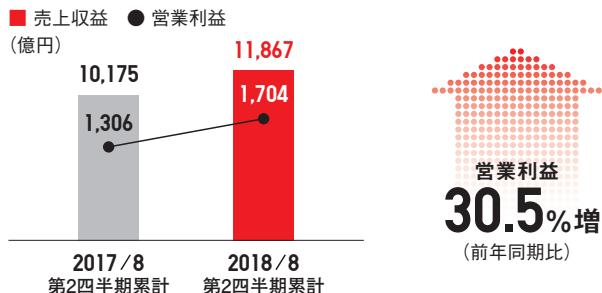
国、米国で収益性が改善しています。米国の赤字幅は大幅に縮小しました。ジーユー事業の上期の売上収益は1,058億円(同8.3%増)、営業利益は91億円(同23.3%増)と増収増益でした。2月末の店舗数は384店舗(前年同期末比26店舗増)となりました。

グローバルブランド事業の上期の売上収益は784億円(同11.4%増)、営業利益は56億円の赤字でした。営業利益が赤字となったのは、コントワー・デ・コトニエ事業に係る減損損失を77億円、セオリー事業傘下のヘルムートラングブランドに係る減損損失を10億円計上したためです。

通期の業績予想は、上期の業績が計画を大幅に上回ったため、期初予想から上方修正しました。売上収益2兆1,100億円(前期比13.3%増)、営業利益2,250億円(同27.5%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益1,300億円(同9.0%増)を見込んでいます。1株当たり年間配当金は期初予想から増額修正し、400円(前期比50円増)を予想しています。

## 売上収益／営業利益

### 海外ユニクロ事業の大幅な増益が寄与 連結営業利益は前年同期比30.5%増



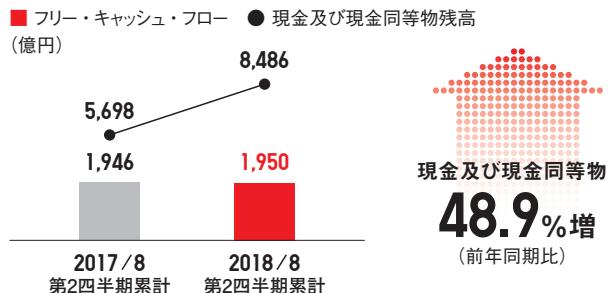
## 親会社の所有者に帰属する四半期利益

### 減損損失、為替差損の計上により、 親会社の所有者に帰属する四半期利益は若干の増益



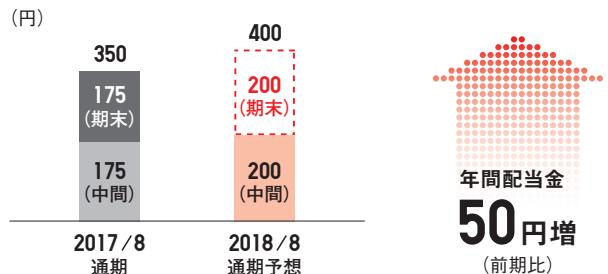
## フリー・キャッシュ・フロー／現金及び現金同等物残高

### ユニクロ事業の営業CF増、3ヶ月超の定期預金の 取り崩しにより、現金及び現金同等物が増加



## 1株当たり配当金

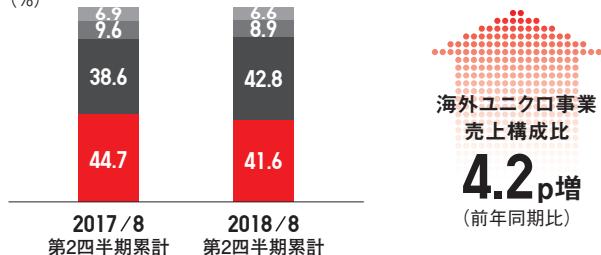
### 1株当たり年間配当金は400円と、 前期比50円の増配を予想



## セグメント別売上構成比

海外ユニクロ事業の売上構成比が42.8%、  
国内ユニクロ事業の売上構成比を超える

■ 国内ユニクロ ■ 海外ユニクロ ■ ジーユー ■ グローバルブランド (%)



海外ユニクロ事業は、店舗数の拡大、既存店売上高の増収により、  
売上構成比が拡大。初めて国内ユニクロ事業を上回る

## 海外ユニクロ事業：セグメント営業利益

全エリアで計画を上回る増益を達成。特に、  
グレーターチャイナ、韓国、米国で収益性が改善



商品構成の見直し、販売計画の精度向上、値引きに頼らない  
商売への転換といった経営改革が進み、大幅な増益

## 国内ユニクロ事業：セグメント営業利益

値引きロスが減少し、粗利益率は改善  
販管費比率も改善し、計画を大幅に上回る増益



例年以上の寒さにより、ヒートテックなどのコア商品の販売が  
好調だったことで、既存店売上高は8.4%増収

## ジーユー事業：セグメント営業利益

店舗数の増加により、増収  
営業利益は計画を上回る増益



防寒衣料などの実需商品が少なかったことで、既存店売上高は  
若干の減収も、店舗数の増加により増収を達成

## ■ 会社概要

商号	株式会社ファーストリテイリング FAST RETAILING CO., LTD.
本社事務所	山口県山口市佐山717番地1
六本木本部	東京都港区赤坂9丁目7番1号 ミッドタウン・タワー
有明本部	東京都江東区有明1丁目6番7号6階 UNIQLO CITY TOKYO
設立	1963年5月1日
資本金	102億7,395万円
事業の内容	株式又は持分の所有によるグループ全体の事業活動の支配・管理等
連結従業員数	50,849名

## ■ 取締役・監査役

代表取締役会長兼社長	柳井 正	常勤監査役	田中 明
取締役(社外)	半林 亨		新庄 正明
	服部 暢達	監査役(社外)	安本 隆晴
	村山 徹		渡邊 顯
	新宅 正明		金子 圭子
	名和 高司		

## ■ 株式の状況

会社が発行する株式の総数	300,000,000株
発行済株式の総数(自己名義株式を含む)	106,073,656株
株主数(自己名義株式を含む)	9,825名

## ■ 大株主

	持株数(千株)	持株比率(%)
柳井 正	22,987	21.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	18,025	16.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,139	10.50
ティティワイマネージメントビーヴイ	5,310	5.01
柳井 一海	4,781	4.51
柳井 康治	4,780	4.51
有限会社Fight&Step	4,750	4.48
株式会社ファーストリテイリング	4,065	3.83
有限会社MASTERMIND	3,610	3.40
資産管理サービス信託銀行株式会社	3,449	3.25

## ■ 所有者別株式分布状況

■ 個人・その他	38.32%
■ 金融機関	31.49%
■ 外国人	20.66%
■ 事業会社・その他法人	8.04%
■ 証券会社	1.49%



## ■ 株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 9983) 香港証券取引所 メインボード市場 (証券コード 6288)
単元株式数	100株 (東京証券取引所) 300HDR (香港証券取引所)
事業年度	9月1日～翌年8月31日
定時株主総会	毎年11月下旬
剰余金の 配当基準日	期末配当: 8月末日 中間配当: 2月末日
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載 URL <a href="http://www.fastretailing.com/jp/ir/">http://www.fastretailing.com/jp/ir/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します)

## 住所変更、買取請求、その他各種お手続きについて

証券会社等に口座をお持ちの株主様  
口座を開設されている証券会社まで、お問い合わせください。

特別口座をお持ちの株主様  
下記連絡先(三菱UFJ信託銀行 証券代行部)まで、お問い合わせください。

## 未受領の配当金について

三菱UFJ信託銀行本支店まで、お問い合わせください。

## 株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

### 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1

0120-232-711 9:00～17:00(土・日・祝祭日等を除く平日)

IRホームページ紹介 <http://www.fastretailing.com/jp/ir/>

ユニクロ お客様窓口 0120-170-296 9:00～17:00(年中無休)